

2026 年 4 月 23 日

東京計器株式会社

(コード番号 7721 東証プライム)

PRESS RELEASE

東京計器 大和ミュージアムに最新船用機器を寄贈

オートパイロットや ECDIS、戦艦大和の操船シミュレーター等を設置

東京計器株式会社（東京都大田区、代表取締役 社長執行役員 安藤毅、以下「東京計器」）は、呉市海事歴史科学館（広島県呉市、館長 戸高一成、以下「大和ミュージアム」）のリニューアルオープンに際し、最新のオートパイロット、電子海図情報表示装置(ECDIS)などの製品、操船シミュレーター、および当社で保存していた歴史的資料の寄贈を行いましたことをお知らせいたします。



オートパイロットと戦艦大和操船シミュレーター



電子海図情報表示装置(ECDIS)

大和ミュージアムは、戦艦「大和」をはじめとする旧日本海軍の艦船から最新の大型商船まで、さまざまな船を造り続けている「呉の歴史」と、造船・製鋼を始めとした各種の「科学技術」を紹介する博物館です。以前より東京計器の機器を展示いただいておりますが、2026 年 4 月 23 日のリニューアルオープンに合わせ、最新のオートパイロット「PR-9000」、電子海図情報表示装置（ECDIS）「EC-9000」、ならびに東京計器の歴史的製資料複数を寄贈しました。

オートパイロットには、来館者が戦艦大和の操船を疑似体験できる「戦艦大和操船シミュレーター」を搭載しております。実際の大和の全長や船速から航行時の動き方が再現されており、誰でもゲーム感覚で楽しんでもいただけます。

また、ECDIS は、実際の船舶と同様に他船から発信される AIS（船舶自動識別装置）情報を表示するなど、実践的な航海環境を再現しています。

このほか、旧式のオートパイロットや、戦前の希少な機器(九六式小舟艇羅針盤、圧力計、晴雨計)といった歴史的資料についても展示いただき、船用機器の技術の歩みをより感じていただけるようになっていきます。

今回の寄贈が、大和ミュージアムご来館の皆さまにとって、海事産業やその技術への関心を深めていただく機会となれば幸いです。

東京計器は今後も、独創技術の提供と未来に向けた人材育成を通じて、海事分野の発展に寄与してまいります。

なお、本寄贈に関連し、2026年4月8日に呉市役所において感謝状贈呈式が執り行われました。



(左から) 東京計器株式会社 代表取締役 社長執行役員 安藤毅、呉市 新原芳明市長

東京計器について

国内初の計器メーカーとして明治時代に創業し、現在は、民間・官公庁両方の事業で社会インフラを支えている企業です。計測・認識・制御の技術を基に、船舶港湾、産業機械、建設機械、上下水道、防衛、宇宙、鉄道などの安全安心に貢献する製品を提供しています。

ウェブサイト：<https://www.tokyokeiki.jp/>

お問い合わせ先

東京計器株式会社

コーポレート・コミュニケーション室

〒144-8551 東京都大田区羽田空港 1-1-4

HANEDA INNOVATION CITY ゾーン B

TEL：03-3730-7013(直通)

Web フォーム：https://www.tokyokeiki.jp/form/webform_tokyo-keiki.html